

特別支援教育 あどばいすタイム



不登校児童生徒等に対する ポジティブな登校支援 ～小学校高学年児童の事例～



徳島県立総合教育センター
特別支援・相談課

ポジティブな登校支援とは？

- 登園しぶりや登校しぶりが見られた段階や、不登校歴が長くなる前の子どもに対して有効。
- 主に、小学校段階の子どもが対象。
- 子どもが学校へ行きたくなる、学校へ行ったら得をする仕組みを作る。
- 不登校の子どもの生活習慣を整え、登校を促す。
- 子どもの状況に合わせ、学校や家庭での過ごし方を考え、子どもの同意の下で登校に導く。

ポジティブな登校支援とは？

- 不登校の子どもに対する支援方法の1つ。
→いじめや学校でのトラブル等が原因の場合は、別のアプローチが必要
- 令和5年度までは「積極的登校支援」
令和6年度より「ポジティブな登校支援」
→呼び方が変わっただけで、支援の方法は同じ

児童の実態

- 小学5年生
- 登校を促すと「死にたい」など発言があり、毎朝本人が登校の有無や時間を決めていた。
- 小4: 6月の運動会を欠席してから登校しぶり。それ以降、朝になると腹痛や下痢を訴えるようになる。
習い事のサッカーもやめる。
6月→ほぼ欠席。7月→5限だけ。9月→ほぼ欠席。
10月以降→6限のみの登校が続く。
- 小5: 4月に担任から「ポジティブな登校支援」の情報提供を受ける。
欠席した日は、母親がゲーム機を持ち出す、学校と同じ時間割で過ごすなど、家庭で独自に実践。
5月上旬より、給食～6限まで参加できる日が増えてきた。

保護者は、周りから「もっと子どもに寄り添うように」「しっかり休ませて」と言われる度に、自分の考えとは違い、しんどい思いをしていた。

支援の流れ

5月：母と初めての面談

①「覚悟」の確認

支援の方向性について説明し、共通理解をはかる。

②生態学的アセスメントの実施

（1週間の過ごし方を母が記録）

5月：③学校へ行きたくなるてんびん作り

生態学的アセスメントをもとに、支援の手続きを考える。

（④チャレンジ表、⑤契約書、⑥学校を休んだ日のルール）

5月末～1月：⑦ポジティブな登校支援を実践

定期的に母と相談し、手続きの修正や
目標のステップアップをはかる。

①「覚悟」の確認



- 母と総合教育センター特別支援・相談課担当で「覚悟」について確認
- 暴力と拒否のある子どもは「自律」できないことを共有
- 登校させたいという確固たる思いがあるか
- 主導権は必ず保護者が持つ
- 保護者、支援者全員で一枚岩になる
→全員が一貫した方法で取り組む

②生態学的アセスメント

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
AM 5		睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
6		起床6:30 朝食	起床7:10 朝食	起床7:00 朝食	起床7:00 朝食		起床7:00 朝食
7		タブレット ゲーム	タブレット ゲーム	タブレット ゲーム	タブレット ゲーム		タブレット ゲーム
8		朝の挨拶 タブレット	朝の挨拶 タブレット	朝の挨拶 タブレット	朝の挨拶 タブレット		朝の挨拶 タブレット
9		タブレット テレビ	タブレット テレビ	タブレット テレビ	タブレット テレビ	起床9:30 朝食	起床9:30 朝食
10		タブレット テレビ	タブレット テレビ	タブレット テレビ	タブレット テレビ	朝食	朝食
11		8時	8時	8時	8時	8時	8時
PM 12		昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩
1	音読 5時間目	音読 5時間目	音読 5時間目	音読 5時間目	音読 5時間目	音読 5時間目	音読 5時間目
2							
3							
4	ゲーム テレビ お風呂	ゲーム テレビ お風呂	ゲーム テレビ お風呂	ゲーム テレビ お風呂	ゲーム テレビ お風呂	ゲーム テレビ お風呂	ゲーム テレビ お風呂
5							
6	宿題をする	宿題をする	宿題をする	宿題をする	宿題をする	宿題をする	宿題をする
7	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
8	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂
9	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂
10	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂
11	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂	お風呂 お風呂
AM 0							
1							
2							
3							
4							

1週間の過ごし方を母が記録

(小5の5/13～5/19)

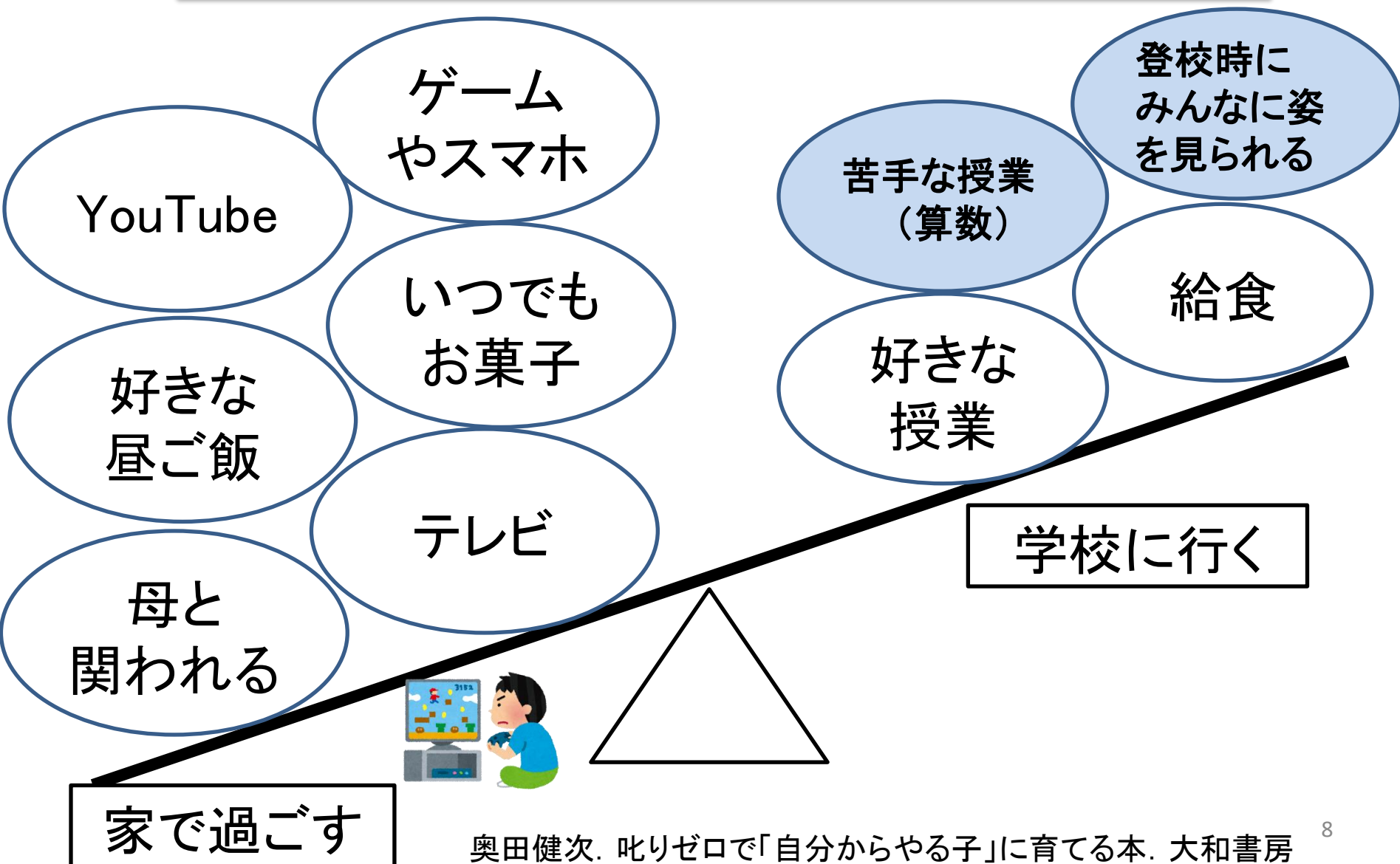
黄色: ゲーム、タブレット、TVなど

水色: 登校

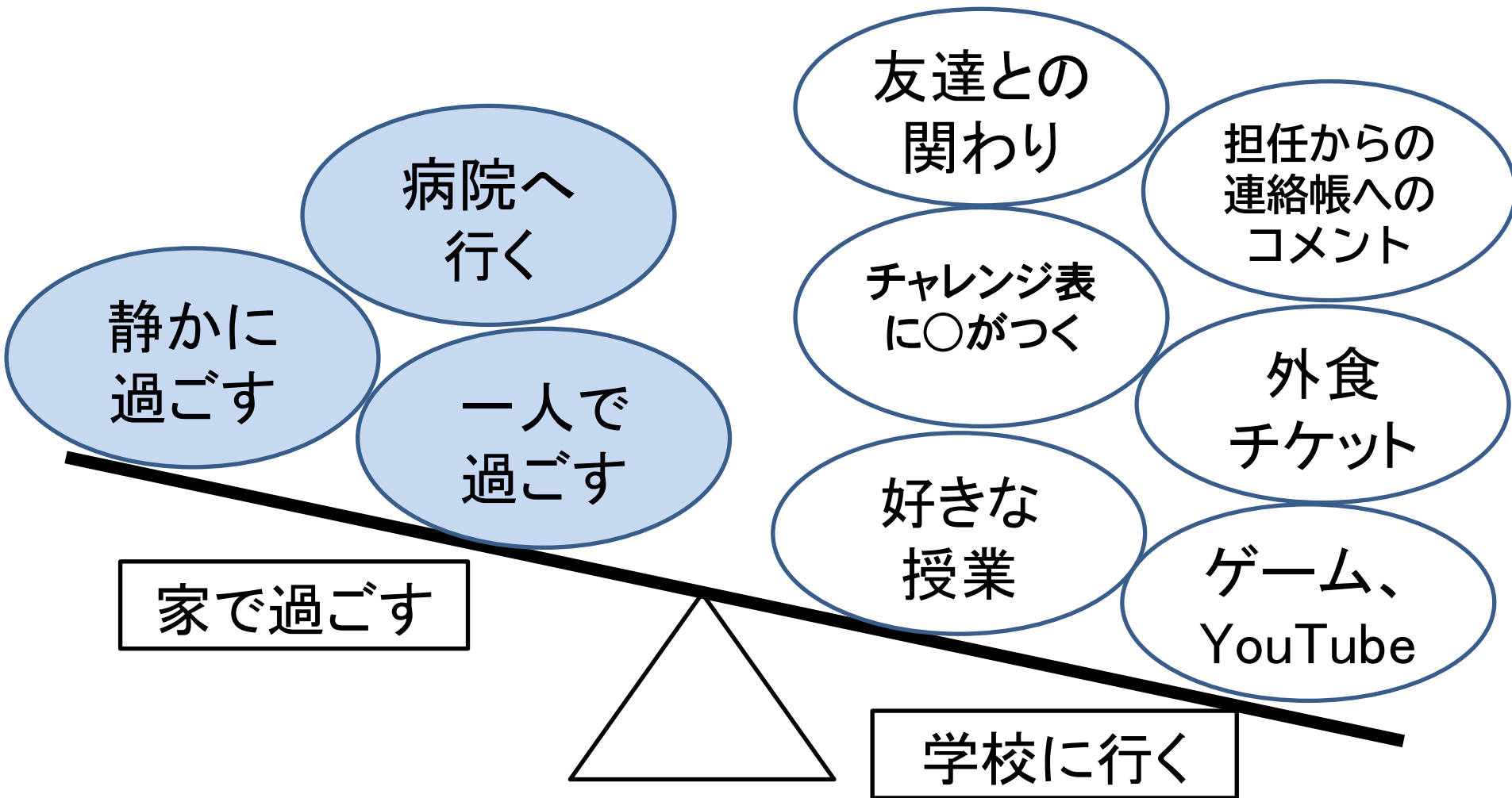
現状

- 朝からタブレットでYouTubeを見ている。
- 毎日登校しているが、好きな時間に学校へ行っている。
- 登校したら下校まで過ごせる。
- 毎日夕方に友達とオンラインでゲームをしている。
- 毎日平均4時間、ゲームとYouTubeで余暇を過ごしている。

③学校へ行きたくなるてんびん作り ～不登校時のてんびん～



③学校へ行きたくなるてんびん作り ～学校へ登校できるようになった時のてんびん～



④チャレンジ表の作成

～ルール・手続き・「お楽しみ」の可視化～

行動契約法・スモールステップ法・トークンエコノミーシステム

【ルール】

- ・チャレンジ目標1つクリア → **50 円**
- ・貯まったお金は、週末に好きな物と交換
- ・残ったお金 → **貯金**

- ・チャレンジができたかどうかは、父母がチェックします！
- ・お楽しみは、父母からもらえます☆

☆☆交換☆☆

		
いつでもお父さんと スポーツ	好きな コンビニスイーツ券	晩ご飯 リクエスト券
100円	300円	100円

チャレンジ目標	5/27	5/28	5/29
	月	火	水
朝ご飯の食器を流し に持って行く			
お風呂の時、脱いだ 服をかごに入れる			
合計			
5日間の合計金額			
残った金額			

当たり前にできる行動から、
徐々に登校に関する行動へと
ステップアップ！（エラーレス）

1週間で貯まったお金で、
週末にお楽しみをGET！

☆チャレンジのルール

(本人説明用)

一人前として、向き合って
特別感を演出！

【目標】

☆「お楽しみチャレンジ」をクリアしよう!

【ルール】

- お父さん、お母さんは、「やりなさい」とは言いません。
やるかどうかは、〇〇さんが決めます。
- **できたとき**だけ「お金」が、もらえます。
できなかったら「お金」は、もらえません。
- 「お金」がたまったら、好きなものと交換
できます。

「お楽しみチャレンジ」
してみない？

⑤契約書

けいやく書

【目標】

☆チャレンジをクリアしよう!

【やくそく】

- ・お父さん、お母さんは、☆チャレンジのルールを守ることをちかいます。

父

母

- ・わたしは、「お楽しみチャレンジ」のルールを守ることをちかいます。

名前

⑥学校を休んだ日のルール

学校を休んだ時 の ○○家のルール

【ルール】

- 学校を休む時は、体の調子が悪いときです。
- 学校を休んだ時、お父さんやお母さんは「だいじょうぶかな」と心配しています。
- これからは、学校を休んだら、病院へ行って、悪いところはないか、お医者さんにみてもらいます。そして、学校へ行けないうくらいしんどい時は、家でしずかにすごします。元気になるまで、ゆっくりねます。
- だから、学校を休んだ日は、ゲーム・YouTube・TVは、お休みです。
- 買いものや公園など、外へも行きません。
- 病院の先生に「1日ねていなさい」といわれた時や、ねつが「37.5度」以上ある時は、元気になるまで、ゆっくりねます。



しんどい、つかれているだけ → お休みできない



家ぞくの用事の時 → お休み

- もし、元気なのに学校へ行けない時は、学校がおわる時間まで、家でも勉強します。



行動契約時のエピソード

くしゃくしゃにした 「チャレンジ表」と「直筆抗議文」

両親は、これまでと
違い本人の要望に
動じず、毅然とした
態度で応じた。

☆チャレンジ表☆
☆目標: 6時間、学校で過ごす

【ルール】

- ・1時間過ごす → 20 円
- ・貯まったお金は、週末に好きな物と交換
- ・残ったお金 → 貯金

6時間、 学校で過ごす	6/17 月	6/18 火	6/19 水	6/20 木	6/21 金
1時間目					
2時間目					
3時間目		○	○	○	
4時間目		○	○	○	○
5時間目		○	○	○	○
6時間目		○	○	○	○
合計		80	80	80	60
5日間の合計金額	300				
残った金額	0				

☆交換☆ 貯めて好きな物を買ってもOK

商品	金額
Switch	1000円
ポケモンGO	50円
ポケモンGO	50円

※「任天堂Switch」は任天堂株式会社の登録商標です (©Nintendo)
※「ポケモンGO」は株式会社ポケモン、Niantic、任天堂の登録商標です (©The Pokémon Company, Niantic, Nintendo)

(奥田2016)

かぐぞとけよとくにママ
いっかーごころす。

⑦登校支援 ステップ1「お手伝い」 5/27～6/7



☆チャレンジ表☆

☆チャレンジをクリアして、お金をゲットしよう

【ルール】

- ・チャレンジ目標1つクリア → 50 円
- ・貯まったお金は、週末に好きな物と交換
- ・残ったお金 → 貯金

チャレンジ目標	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31
	月	火	水	木	金
朝食後、自分の食器を運ぶ	○	○	○	○	○
お風呂に入る時、服をバケツに入れる	○	○	○	○	○
合計	100	100	100	100	100
5日間の合計金額	500				
残った金額	500				

貯めて好きな物を買ってもOK

☆交換☆

ばんごはんをリクエストできる券	ハバというでも(土日)スポーツできる券	コンビニスイーツ1つもらえる券
100 円	100 円	300 円

<手立て>

- ・現在できている目標を設定。
- ①朝食後、自分の食器を運ぶ
- ②お風呂に入る時、服をバケツに入れる

→チャレンジ表の練習

チャレンジを成功させ、お楽しみをもらうことで、チャレンジ表をなくてはならないものにする。

<結果>

- ・2週連続毎日○が付く！
- ・お楽しみとの交換はせず、貯金した。

⑦登校支援

ステップ2「6時間学校で過す」 6/18～ 9/6

☆チャレンジ表☆

☆目標:6時間、学校で過す



【ルール】

- ・1時間過す → 20 円
- ・貯まったお金は、週末に好きな物と交換
- ・残ったお金 → 貯金

6時間、 学校で過す	7/1 月	7/2 火	7/3 水	7/4 木	7/5 金
1時間目					
2時間目					
3時間目	○	○	○	○	○
4時間目	○	○	○	○	○
5時間目	○	○	○	○	○
6時間目	○	○	○	○	○
合計	80	80	80	80	80
5日間の合計金額	400				
残った金額					

☆交換☆

貯めて好きな物を買ってもOK

平日スイッチ券 1日3時間 (欠席したら無効) 200円	土日スイッチかタブレットか スマホ券 1時間 (最大 4時間まで) 100円 × 2	5枚でイベント参加 ポケモンGO土日イベン ト参加券 送迎+スマホ 無制限 (2枚まで) 50円	おこづかい (貯金) 円
---------------------------------------	---	--	--------------------

・発熱、体調不調、感染症などの理由によって欠席した場合も欠席となります。(無給)
・休校や家庭の理由(忌引きなど)による欠席は、欠席となりません。(有給)

<手立て>

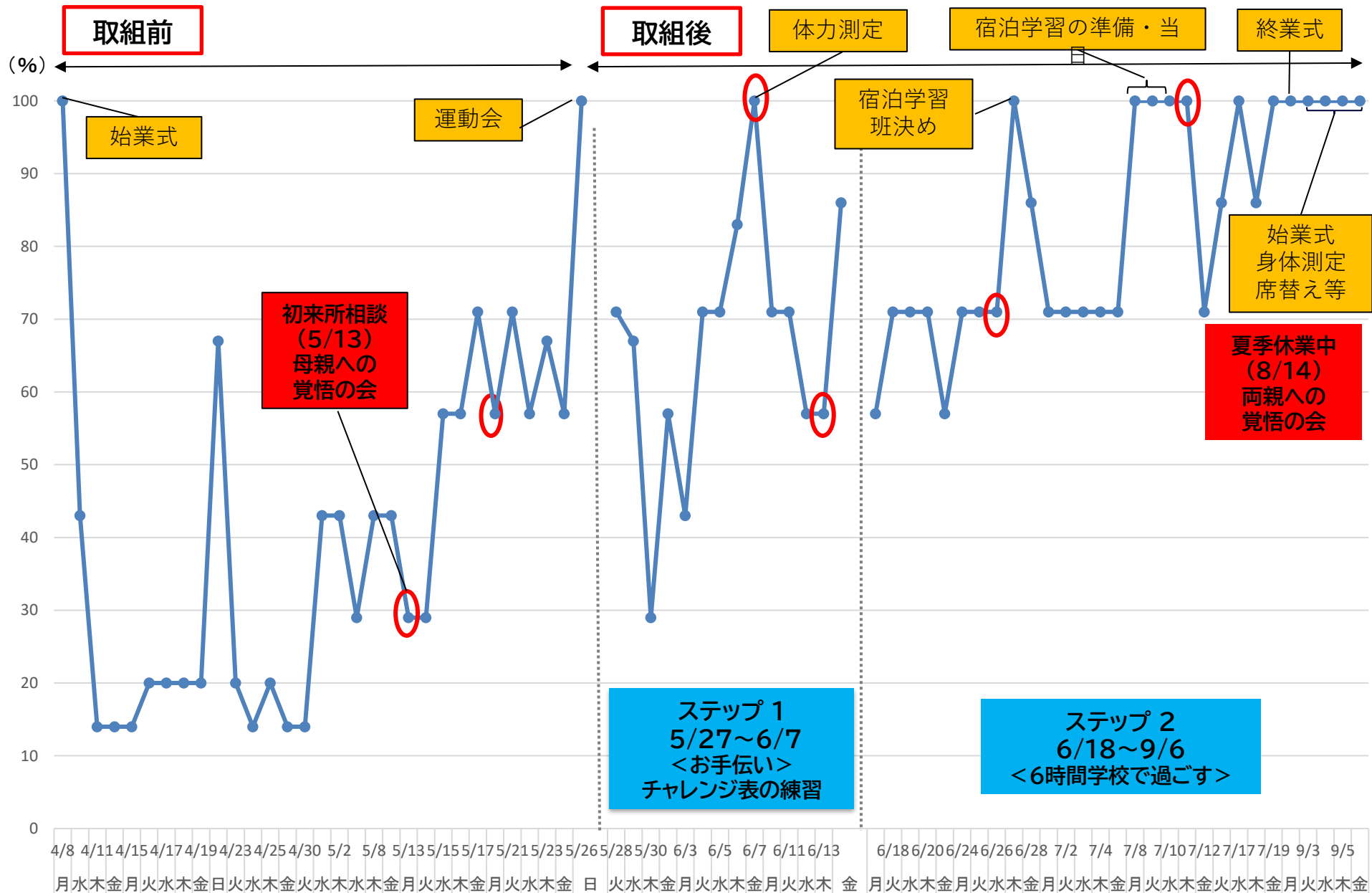
- ・契約書を交わす。
- ・お楽しみを「より好きなもの」に変更
→平日ゲーム券(3時間)
→土日ゲームかタブレットかスマホ
(1時間×購入時間)*最大4時間まで
→ポケモンGOイベント参加券
(5枚で参加可能)

<結果>

- ・毎日、3時間目から6時間目まで過ごせた。
- ・1時間目から登校できる時があるが、行事(運動会、身体測定等)の時のみ。
- ・ゲーム券は必ず購入している。
- ・余裕があれば、ポケモンGOイベント参加券を購入している。

(奥田2016)

学校参加率 (出席時数/全時数×100) ステップ1～ステップ2



* 〇 は保護者との面談日



① 両親への覚悟の再確認(7/23)

→本児に関わる全員が一枚岩になり、一貫性のある支援をすることが重要
お父さんにもセンター職員から直接覚悟の確認を行い、これまで以上に協力をお願いする
(これまでは母親経由で情報共有)



夏期休業中に両親で来所



② 「レート」の変更(8/30)

→現在は、がんばった分だけ得するシステムではない。
行動を引き出すプランへ変更していく。

分量はほぼ一緒だが、レートを変更することでやる気にさせる。

→例) ANAのマイレージ改定
(特典交換に必要なマイル数のアップ)
一見改悪だが..

○ちょっとがんばれば手が届くと思わせるか

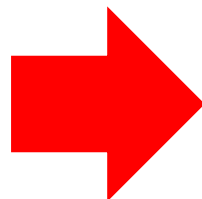
×それならやめてしまおうと思われるか

② 「レート」 の 変更



6時間、 学校で過ごす	月	火
1時間目(20円)		
2時間目(20円)		
3時間目(20円)		
4時間目(20円)		
5時間目(20円)		
6時間目(20円)		
合計		
5日間の合計金額		
残った金額		

一律20円



6時間、 学校で過ごす	月	火
1時間目(50円)		
2時間目(40円)		
3時間目(10円)		
4時間目(10円)		
5時間目(10円)		
6時間目(10円)		
合計		
5日間の合計金額		
残った金額		

1・2時間目に価値



③ 「コンボ」 の 設定(8/30)

→行事の時は1限までに登校できることはあるが、継続しない。

1限から連続登校で得をするシステムにする。

→例) スーパーマリオ

連続で敵(ノコノコ)を倒すとスコアがうなぎ登り

200→400→800→1000→2000→4000→8000→1UP


③ 「コンボ」 の 設定



→ 2日連続2限からの登校を1コンボとし、1週間で最高4コンボできるように設定

(1コンボ + 5円、2コンボ + 15円、
3コンボ + 40円、4コンボ + 100円)

金曜日の集計日にコンボの金額をプラスし合計金額を出す。

コンボ (2限からの登校が連続)		①	②	③		①コンボ	5円
6時間、 学校で過ごす						②コンボ	15円
	月	火	水	木	金	③コンボ	40円
1時間目(50円)		○	○			④コンボ	100円
2時間目(40円)	○	○	○	○			
3時間目(10円)	○	○	○	○	○		
4時間目(10円)	○	○	○	○	○		
5時間目(10円)	○	○	○	○	○		
6時間目(10円)	○	○	○	○	○		
合計	80	130	130	80	40	コンボ 40	
5日間の合計金額	500						
残った金額							



⑦登校支援 ステップ3「6時間学校で過ごす」 9/9～ 1/31



☆チャレンジ表☆ ☆目標:6時間、学校で過ごす

【ルール】

- ・貯まったお金は、週末に好きな物と交換
- ・残ったお金 → 貯金

コンボ

1・2限までの登校が連続する

コンボ数	①	②	③	④	①コンボ	5円
6時間、 学校で過ごす	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	15円
1時間目(50円)	○	○	○	○	○	40円
2時間目(40円)	○	○	○	○	○	100円
3時間目(10円)	○	○	○	○	○	
4時間目(10円)	○	○	○	○	○	
5時間目(10円)	○	○	○	○	○	
6時間目(10円)	○	○	○	○	○	
合計	130	130	130	130	130	+ 100
5日間の合計金額	750					
残った金額	50					

☆交換☆

貯めて好きな物を買ってもOK

月・火 スイッチ券 1日3時間	水・木・金 スイッチ券 1日3時間	土日スイッチかタブ レットかスマホ券 1時間 (最大4時間まで)	外食チケット (1枚まで) ※好きな店を選ぶ	ポケモンGO土日イベン ト参加券 送迎+スマホ 無制限(最大2枚まで)	おこづかい (貯金)
100円	100円	100円	100円	50円	円

- ・発熱、体調不調、感染症などの理由によって欠席した場合も欠席となります。(無給)
- ・休校や家庭の理由(急引きなど)による欠席は、欠席となりません。(有給)

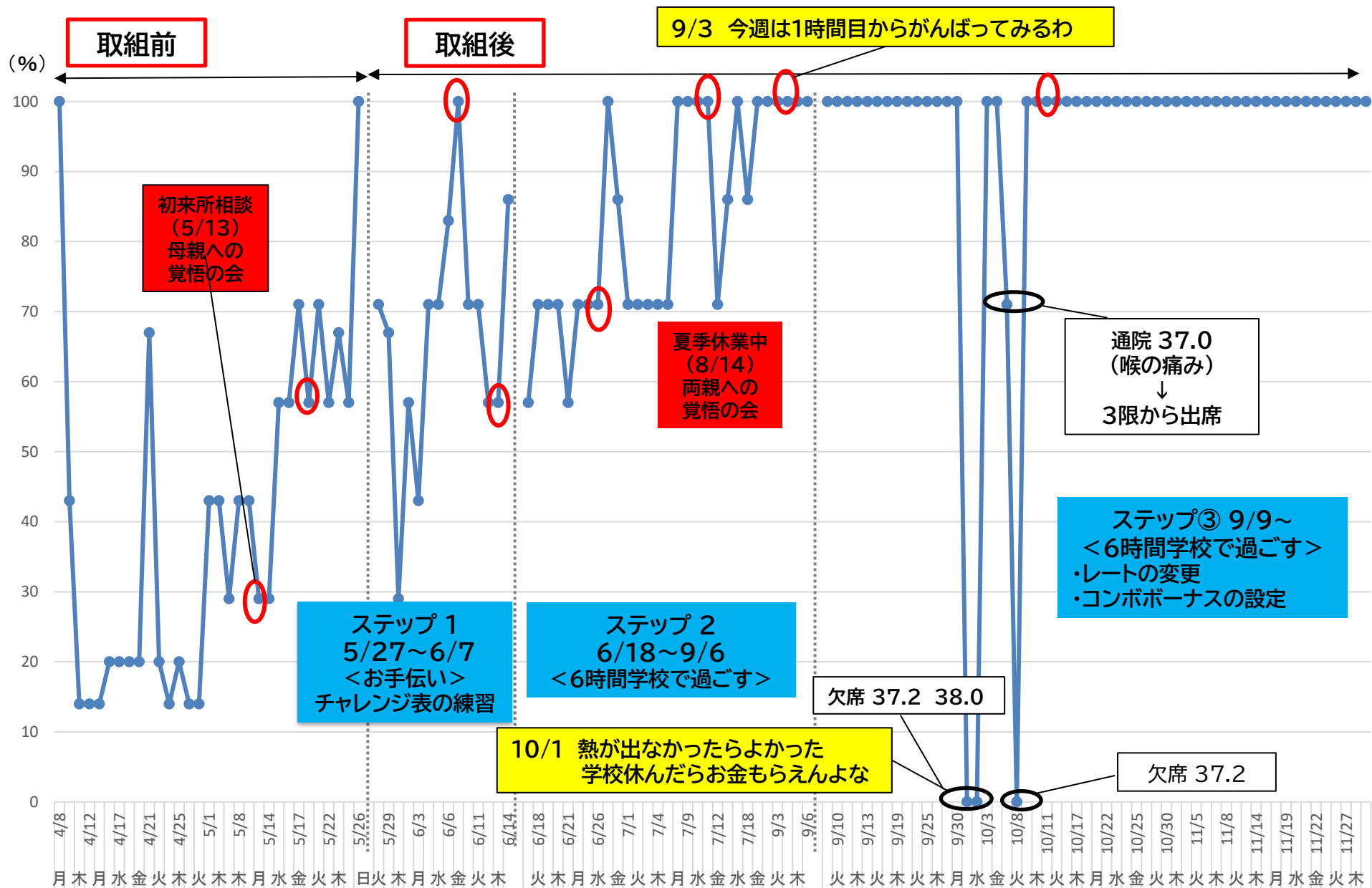
<手立て>

- ・登校したらより得するシステムに
 - レートの変更
 - コンボの設定
- ・お楽しみの変更
 - 外食チケット追加
(枚数に応じたお店で食事)
 - 平日ゲーム券を月・火と水・木・金

<結果>

- ・欠席 3日(発熱3日)
ゲームなしで寝て過ごす
「熱が出なかったらよかった」
「学校休んだら、お金もらえんのよな」
- ・喉が痛いと感じる日があったが・・・
「学校を休もうかなって思うのをやめるよ
うにした」

学校参加率 (出席時数/全時数×100) ステップ1～ステップ3



* 〇 は保護者との面談日

おわりに



【お子さんの変化】

- ・準備を自分でするようになり、登校時間が更に早く。
- ・学校近くの駐車場から、歩いて登校できるように。

【お子さんの発言：1月下旬頃】

- ・「オレ、学校行くの楽しくなってきた！！」
→こんなことを言ったのは初めて。
- ・「ママたちが、学校に行ってほしいってがんばったんじゃない？」
- ・「もう学校に行かんってことはないんじゃない」
- ・「勉強は嫌やけど、学校楽しくなってきた！」
- ・「休み時間に遊ぶのが楽しい」
- ・「今のクラスが最高にいい！！」

自分から登園・登校する子どもになってほしいと願う
保護者・支援者のみなさまへ

園の雰囲気が変われば
子どもが人になら
変わるんだと
支援しました。
※本人より(支障)の程度より

「毎日学校で遊べたよ。」と
嬉しそうに家に帰ってくる
姿が見られるよう
になりました。
※本人より(支障)の程度より

ポジティブな登校支援 「園・学校へ行きたくなくなる」 “しかけ”作り

“しかけ”作りは、「てんびんの法則」で考える



ポジティブな登校支援のチラシを公開してい
ます。ご活用ください。

ポジティブな登校支援の要は保護者・支援者の「覚悟」!!

- 保護者・支援者に「学校と協力して登園・登校させたい」という確固たる思いがある。
- 登園・登校したくないという子どもに、冷静な態度で接することができる。
- 休んだ日に、保護者・支援者が家庭で見守ることができる。
- 保護者・支援者全員が共通理解した上で、一枚岩になり一貫した方法で取り組む。
- 子どもが成長するまでは保護者・支援者が先導する。



「覚悟」の上、
取り組むことで

こんな状況のお子さんが
登園・登校できるようになりました★



【過去の事例より】

- ✓登園しやすくなった
- ✓保護者に言われしが学校へ行っている
- ✓別室登校や保健室登校をしている
- ✓園・学校を休んで家で好きなことをしている
- ✓常に自分の要求が優先されてきた
- ✓遅刻して給食から登校している
- ✓きょうだいで休んでいる
- ✓朝になると体調不良を訴える
- ✓不登校の原因が見当たらない



このチラシを公開しています



- ① 園・学校を休んだ時間に何をしているか、1週間ほど細かく記録する。
 - ② 記録をもとに、学校へ行きたくなくなる“しかけ”を作る。
 - ③ “しかけ”にもとづいて、支援を行い、目標に対する記録をとる。
 - ④ 記録をもとに、“しかけ”を再考しながら、支援を継続する。
- ※総合教育センターが“しかけ”作りをサポートし、登園・登校をめざす保護者・支援者と作業します

ポジティブな登校支援を含め不登校の
ご相談はこちらまで

徳島県立総合教育センター
特別支援・相談課 教育相談担当
【受付時間】平日9:00～17:00
☎088-672-5200
✉tokubetsushien@mt.tokushima-co.ed.jp

不登校のサポートに
関する色紙や冊子は
こちらから



ほっとスペース
あせび

不登校やその他の困難を抱えている子どもや保護者のために、センターで実施している「ほっとスペース」は、心理士や教育相談員が、子どもや保護者の悩みを聞き、サポートします。

ライフサポーター
あせび

不登校やその他の困難を抱えている子どもや保護者のために、センターで実施している「ライフサポーター」は、心理士や教育相談員が、子どもや保護者の悩みを聞き、サポートします。

このチラシを公開しているのは、専門的な知識がなくても大丈夫です。



徳島県立総合教育センター 特別支援・相談課

〒779-0108 徳島県徳島市野間町大正通1-7

電話：088-672-5200 相談時間：平日9:00～17:00 休日は受付しません。

この“しかけ”作りを「ポジティブな登校支援」と呼んでいます。
ポジティブな登校支援は、不登校の子どもの生活習慣を整え、登校を促す支援方法です。
子どもの状況に合わせて、学校や家庭での過ごし方を考え、子どもの成長の下で登校に導きます。
※ポジティブな登校支援は、必ずしも成功するものではありません。

